

東白川村 美しい村づくり 委員会

第 23 回

○場 所：ふれあいサロン

○時 期：平成 30 年 3 月 19 日 19:00~21:00

○参加者：委員 7 名 一般参加 2 名 行政 5 名

第 1 神付地区 集落あるもの探しについて

1 次回集落あるもの探しについて

場 所・・・神付地区 五葉会館集合 9 時

日 程・・・3月21日(水・祝) 午前中

案内者・・・早瀬寛さん

告 知・・・広報誌、伝文字

第 2 第 2 期美しい村づくり委員ついて

第 1 期任期満了（2 年間）にともない、平成 30 年 4 月より第 2 期がスタートします。そこで、第 2 期美しい村づくり委員募集の内容を説明しました。募集方法は広報誌、チラシ配布を行い、CATV にて委員募集番組を作成することとなりました。

第 3 つちのご講演会（仮称）について

第 17 回委員会にて、委員の皆さんや一般の方にイベント企画アイデア募集（やってみたい講演会やシンポジウム、くるま座など）を行いました。それがきっかけで「つちのご講演会（仮称）」のアイデアが一般の方から出てきました。今回はその企画に対する意見を委員の皆さんに伺いました。

1 意見

(1) つちのごフェスタ（5/3 開催）で PR が効果的。

(2) 講演のみではなく、対談などもあると集客が上がる。

(3) TV局などメディアへ積極的な情報提供が必要。

第4 「健康で持続可能な暮らし」について

1 前回のまとめ

前回では、美しい村として、単に景観の視点だけではなく、その住民も健康で美しく持続的に生活できる地域が美しい村であり、そんな地域に人は魅力を感じ移住してくる！と意見がまとまりました。

過疎地は高齢化問題、少子化問題を都市部より有利に解決できます。過疎地では高齢者が減少しはじめ、その分の福祉予算を子育てなどの予算に割り当てることが可能です。それは子育て世代をターゲットとした移住定住施策へとつながります。では、移住者は何を求めて田舎暮らしを始めるのでしょうか？また、どんな地域に惹かれるのでしょうか？

キーワードとして、ロハス、スローライフ、自然環境、環境配慮、持続可能、循環型、地域内エネルギー、パーマカルチャー^①、田園回帰、シェア、森の幼稚園、シュタイナー教育^②、生涯学習などが挙げられます。

国連で採択されたSDGs「持続可能な開発目標」でも見られるように、「人と地球に負荷をかけない持続可能な暮らし」が可能な地域、また取り組んでいる地域に、移住者は惹かれるのではないのでしょうか。

① ①自然のエコシステムを参考にし、持続可能な建築や自己維持型の農業システムを取り入れ、社会や暮らしを変化させる総合的なデザイン科学概念。デビット・ホルムグレンとビル・モリソンが作った造語。「動物や多年生の植物、および自家更新する植物を人間が利用する目的で組み合わせたシステムであり、それは常に進化する」と著「パーマカルチャーワン」に定義されている。

② ②20世紀はじめのオーストリアの哲学者・神秘思想家ルドルフ・シュタイナーが提唱した「教育芸術」としての教育思想および実践であるヴァルドルフ教育を、日本で紹介する際に名付けられた呼称のひとつ。

2 移住者さんからお話を伺いました。

Q：「理想の暮らしとは？移住した理由は？どんな地域に惹かれる？

- (1) 非石油系の商品を使用している。
- (2) 無施肥無農薬な農業を実践している。
- (3) 以前バックパッカーで世界を旅した。アジア地域の子供の目の輝きや笑顔に感動した。
- (4) 身体に危険な物に気をつけている。
- (5) 地域の食材を日々食すことが喜び。
- (6) 東白川村は安心な食を手に入れることができる地域。
- (7) この村は空気がとてもキレイ！水がとてもキレイ！
- (8) 自給自足な暮らしを目指して移住した。
- (9) 村のキャベツが甘い！
- (10) 身体に良い悪いという二言論的展開は避けたい。
- (11) 健康への過剰な意識はストレスになる。
- (12) 給食を地域産で安心なものにしてほしい。
- (13) イベント出店で、ふんどし販売や占いをやっている。
- (14) 子育て環境として森の幼稚園などの取組み
- (15) いろんなシェアのあり方を実践したい。
牧場、味噌作り、醤油作り、チーズ作りなど。

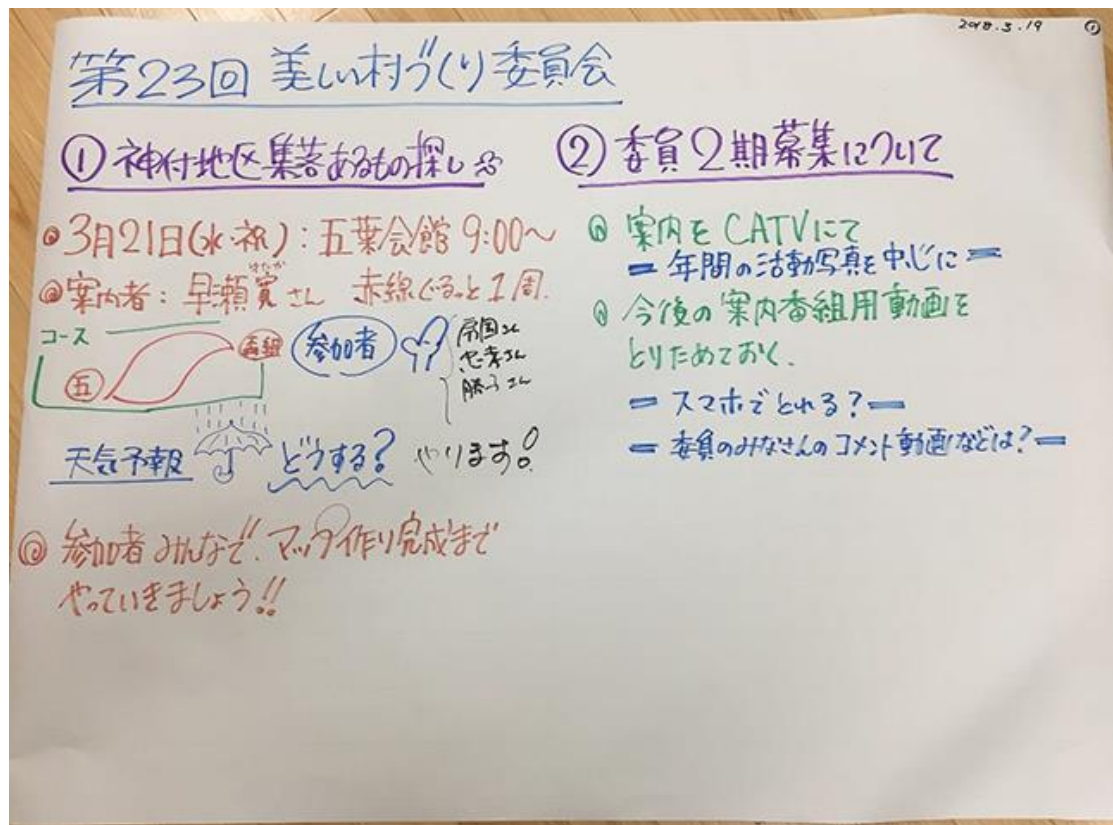
3 以上の移住者さんからの意見を受けてこれから、以下の内容について検討していくことになりました。

- (1) 「村のあたりまえ」を都市部に発信しよう。
- (2) 健康で持続可能な暮らしを「知る」場を設けよう。
- (3) 実践できるアクションプランを考えよう。

以上

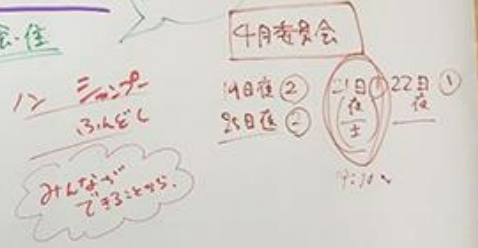
次頁にて写真掲載

委員会の様子 ↓



④ 『健康・持続可能な暮らし』について

キーワード: DHA・EPA・自然環境
健康・環境配慮・持続可能な
循環型・田園回帰・移住
科学物質・IP-2カヒチ・教育

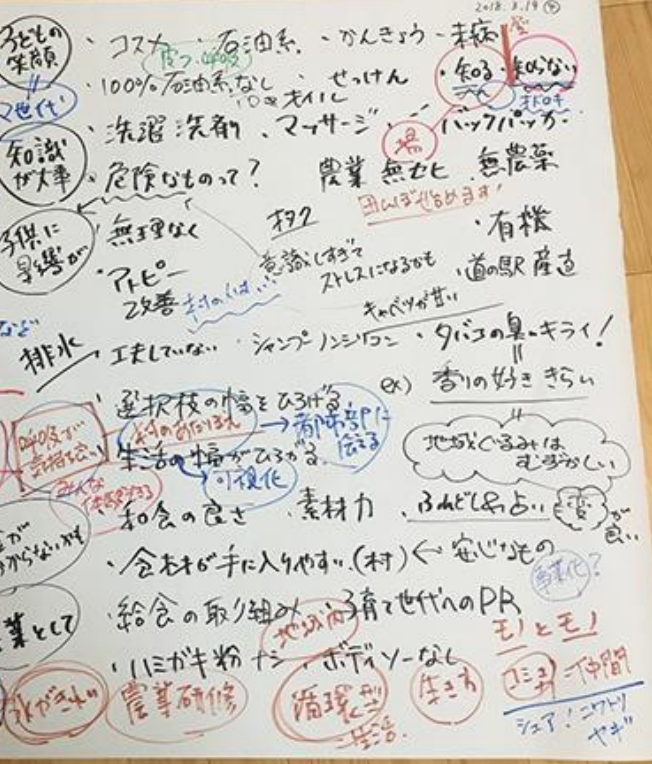


過疎地: 高齢化・小児化問題を
都市部より有様に解決でき!
それは、子育て世代などターゲット
とした、移住定住施策による
可能となる! では、移住者は
何を求めて同舎暮らしを始めるのか?
また、どんな地域に惹かれるのか?

世界のトレンドとなっている
「SDGs: 持続可能な開発目標」や
「人と地球に負荷をかけない
持続可能な暮らしが可能な、
新しい取り組みをする地域」。
それが現在の「美しい村」ではないか!
この取り組みを実践していくことは、
世界最先端は社会的課題を
解決することにつながる。

④-2 移住者さんへ聞く!

- Q- どんな暮らしを求めている?
- Q- 実現している?
- Q- 同舎暮らしを始める理由は?
- Q- どんな地域に惹かれる?



1人10分程度 話し合い
グループワーク・今後できること
15分
グループ発表
服、眼鏡、
自然観察、
水がきれい

